

どんぐり村の こみ・すく通信

令和7年6月10日発行 令和7年度第6号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

更中 生徒会ボランティア活動

恒例の更別中央中学校全校生徒による「生徒会ボランティア活動」としてのゴミ拾いが、5月15日(木)に行われました。

この活動は、地域への感謝を示すとともに、ボランティア精神を養うことを目的としています。今年も4つのグループに分かれて、生徒たちは意欲的に取り組んでいました。写真のように、道路の側溝にも降りて拾っていました。生徒の皆さん、お疲れ様でした。



あ!ここにもあるよ。

みんなの学校応援団の活動を紹介<その2>

上更小 親子・地域「植栽」

5月26日(月)に、上更別小全校児童が、保護者や地域の皆さんのご支援を受け、国道沿いの140個ほどの土管に、400株を超える花(マリーゴールドとサルビア)を植えました。地域の方からは、「子どもたちの笑顔が見て嬉しかった」という声を聞くこともでき、学校と地域が触れ合ういい機会となりました。

上手だね!



JAさらべつ青年部と更小5年生

5月20日(火)に、JAさらべつ青年部の皆さんのご協力をいただき、更別小学校5年生が各種野菜の種まきをしました。

まいた種は、カボチャの「ケント」と「アトランテックジャイアント」(ハロウィン用)、とうもろこしの「ドルチェドリーム」(ゆでなくても食べられる)でした。さらに、ミニトマトの「あまっこ」の苗も植え付けました。

JAさらべつ青年部の方々は、森田部長を中心とする18名で、前もって畑を耕し、地温を上げるためのマルチ(プラスチックフィルム)をかけて準備をしてくれていました。子どもたちは、渡された種や苗を大事そうにして手に取り、一つ一つしっかりと植え付けていました。

今年は、コミュニティ・ナースの方2名も視察に來られていました。学校と地域の連携に注目していたとのことでした。今から、実りの秋が楽しみです。



子どもたちから質問が出ていました。「何度ぐらいが成長しやすいの?」「一番育てやすい野菜は?」「ビニールは何の意味があるの?」等でした。

よろしくお願いします。



JA青年部は、農業を通じて地域に根ざした社会貢献に取り組んでいます。更別村では、学校・幼稚園・保育園等と連携し、作物の播種・収穫・加工の食育活動等を推進しています。